

河川改修の効果事例(佐用川)

- 千種川水系佐用川において、平成21年8月台風第9号で甚大な浸水被害が発生したことから、災害復旧助成事業により、川幅を約1.3倍にするなどの河川改修を実施。
- 令和6年8月27日の豪雨では、「記録的短時間大雨情報」が発表され、佐用雨量観測所の60分雨量で平成21年8月出水を超える雨量が観測されたものの、河道改修等により、佐用川佐用地点の水位が約1.0m低下。

位置図



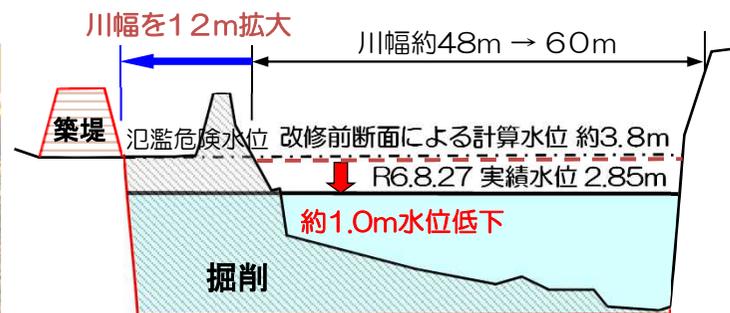
出水状況

佐用川(佐用局カメラ) 佐用郡佐用町



2024/08/28 0:00

(参考) R6.8.27の豪雨に伴う出水における水位低下効果



※改修により川幅が約1.3倍に拡大
断面が約2.3倍に拡大

事業効果

佐用雨量観測所 [県] (佐用郡佐用町)での比較

60分雨量



累計雨量



・今回の実績水位 : **2.85m**

改修前断面による計算水位は約3.8m

・水位低下効果は、**約1.0m**

佐用川(佐用水位)

- ・氾濫危険水位 : 3.80m
- ・避難判断水位 : 3.00m
- ・氾濫注意水位 : 2.80m
- ・水防団待機水位 : 2.50m